

平成30年度ひめじ創生戦略の数値目標 総括表(平成31年3月時点)

	基本目標	a.計画通り進捗している	b.計画より遅延している	c.平成30年度数値未確定
1	地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	4	3	0
2	学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	3	4	1
3	生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生	5	2	0
4	出産、子育てにやさしい社会を創生	3	5	1
5	播磨の中核都市として魅力ある圏域を創生	6	4	0
	合計	21	18	2

基本目標	数値目標	戦略策定時(平成26年度)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	達成率	目標値(平成31年度末)	数値の理由等
1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	製造品出荷額等の全国シェア	0.72%	0.74%	0.74%	-	-	28.57%	0.79%	H29工業統計調査が公表されていない
	製造品出荷額等の県内シェア(直近5年平均)	14.70%	15.06%	15.12%	-	-	30.88%	16.06%	
	従業者数(製造業)	46,050人	44,640人	46,842人	-	-	a 100.00%	46,050人	H26を境に減少している。 H29工業統計調査が公表されていない
	工場立地件数(工場立地促進制度の適用件数)(3か年度平均)	27件	30件	35.3件	36件	40件	a 433.33%	30件	平成25年度までの指定件数は年20件程度で推移していたが、H26年度に投資額の要件を緩和したことで、指定件数が年30件以上に増加したため。
	創業者に対する支援数(H28年度以降の累計)	73人	106人	121人	161人	139人	a 140.33%	300人	商工会議所内にある創業ステーション等の相談機能も創業者・創業予定者に周知されてきている。
	工場用地ライブラリー制度の登録件数	8件	12件	7件	12件	1件	b -350.00%	10件	工場用地ライブラリーに登録される前に、用地所有者(供給側)と企業(需要側)との間で、売買が成立するケースが増加していると考えられるため。
	市立3校の就業体験の生徒数	82人	87人	146人	149人	57人	b -138.89%	100人	H30年度は、「企業・大学・学生マッチングin Himeji 2018(主催:姫路地域産学官連携事業実行委員会)」への市立3高校が参加ができなかったためにH29より参加者数が減少した。
「豊穡の国・はりま」ブランド登録団体数	-	46団体	55団体	61団体	66団体	a 101.54%	65団体	未登録者の働きかけに加え、五つ星ひょうごや県認証食品の取得について、事業者への働きかけを行ったことにより、順調に推移している。	

達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示
(最新数値-戦略策定時数値)÷(目標値-戦略策定時数値)×100

基本目標	数値目標	戦略策定時(平成26年度)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	達成率	目標値(平成31年度末)	数値の理由等
2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)・大阪府への転出超過数	560	825	1,064	930	758	b -35.36%	0	都市部への雇用拡大による人口流出が考えられる。一方で改善のきざしが見られる。
	総入込客数	9,148千人	11,902千人	10,266千人	9,873千人	-	- -	10,000千人	平成26年3月の姫路城グランドオープンに伴う観光客増が落ち着き、姫路城をはじめとする観光施設の入場者数が相対的に減少したため。(総入込客数については、令和元年6月公表予定)
	姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数	6,588千件	9,073千件	4,662千件	4,824千件	5,162千件	b -100.99%	8,000千件	策定時より減少しているが、ブロガーやユーチューバー等のインフルエンサーによるリンクの掲載や視察の受け入れ増加により、昨年度と比較するとアクセス数が増加し、改善の兆しが見られる。
	ジュニア姫路検定の参加者数	1,912人	1,894人	1,561人	1,699人	2,297人	a 204.79%	2,100人	学校指導課と農業振興センターの新規参加、エコパークあぼしと好古園の再参加により参加者数が増加した。
	コンベンション等の開催支援数	71件	69件	79件	69件	83件	b 63.16%	90件	新たに作成した制度案内のチラシ配布などによるコンベンション開催助成制度の周知や、誘致活動を行ったため、前年度より増加している。
	観光案内所(姫路観光ナビポート)での外国人観光客対応者数	10,872人	26,370人	23,868人	28,489人	27,591人	a 183.16%	20,000人	国のビジット・ジャパン事業などと連動した市のインバウンド事業推進により、訪日外国人観光客が増加したため。
	地域おこし協力隊の受入人数(H28年度以降の累計値)	-	1人	2人	2人	3人	b 37.50%	8人	H28年8月1名採用、29年度1名採用、30年度1名採用
	女性を対象とした就労支援メニューの参加企業数	-	-	-	37社	33社	a 330.00%	10社	女性が就労継続しやすい企業の調査開拓を行い、企業に対し事業説明会を開催し、本事業の趣旨を理解してもらったうえで参加を募っている。

達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示
(最新数値-戦略策定時数値)÷(目標値-戦略策定時数値)×100

基本目標	数値目標	戦略策定時(平成26年度)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	達成率	目標値(平成31年度末)	数値の理由等
3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生	高齢者(65～74歳)の有業率	30.60%	-	-	32.80%	-	a 157.14%	32.00%	就業構造基本調査
	健康寿命'(男性)	77.84歳	77.99歳	78.76歳	78.49歳	78.33歳	a 42.24%	1年延伸	健康寿命の算定には姫路市及び全国の人口、死亡数、要介護者数、生命表等さまざまな要素が関係しており、対策がすぐに効果として反映されにくい。男性は、目標値に到達していないが戦略策定時数値と比べると延伸している。
	健康寿命'(女性)	82.45歳	82.87歳	83.46歳	83.44歳	83.65歳	120.00%	1年延伸	
	生涯現役人材バンクの活用件数	46件	59件	72件	76件	81件	a 120.69%	75件	ポスターやイベント出演等で制度のPRを実施したことにより件数が増加し、順調に推移している。
	シルバー人材センターの会員数	3,265人	2,984人	2,832人	2,737人	2,660人	b -186.15%	3,590人	定年延長、継続雇用制度の導入等が定着したこと及び障害者の法定雇用率上昇による減少と推測される。今後説明会の回数増やPRに努め増加を図る。
	ニュースポーツ普及事業助成数(H29年度以降の平均値)	33.70校・地区	38.20校・地区	43.00校・地区	43.30校・地区	42.00校・地区	a 89.25%	43.00校・地区	各校区へ実施の呼びかけを行うことにより校区数は増加し、順調に推移している。
	介護予防自主活動グループ数	197グループ	289グループ	367グループ	416グループ	451グループ	b 78.64%	520グループ	既存グループの活動支援にも力を入れているため、新規グループ数の伸びは前年度より少ないものの、増加している。 ※平成31年3月末現在実績
	要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合	63.20%	62.50%	62.10%	61.57%	60.75%	a 98.00%	60.70%	要介護認定者より、要支援認定者と介護予防日常生活支援総合事業対象者の合計の方が伸び率が高いため。 ※要介護・要支援認定者数は、同認定者数に、介護予防日常生活支援総合事業の事業対象者数を加えた数

達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示
(最新数値－戦略策定時数値)÷(目標値－戦略策定時数値)×100

基本目標	数値目標	戦略策定時(平成26年度)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	達成率	目標値(平成31年度末)	数値の理由等
4 出産、子育てにやさしい社会を創生	合計特殊出生率	1.55	1.57	1.53	1.55	-	b 0.00%	1.65	主に20代前半から30代前半までの出生率が低下している
	女性(30～39歳)の有業率	67.20%	-	-	71.10%	-	a 102.63%	71.00%	就業構造基本調査
	「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	46.20%	-	48.80%	-	-	b 10.92%	70.00%	認知度は上昇したものの大きな変化はなかった。今後も啓発に努めていく。次回平成32年度以降に調査予定。
	妊婦本人への面接率	96.80%	96.90%	96.60%	97.04%	96.54%	b -8.12%	100.00%	妊婦自身の体調不良や仕事のため、面接率の変動はある。未面接者は、後日電話や訪問等で状況確認に努めている。
	保育所等利用待機児童数	69人	46人	126人	185人	-	- -	0人	※現在集計中
	ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数	718人	760人	787人	823人	841人	a 170.83%	790人	増加傾向にあるため、順調に推移している。
	コミュニティ活動イベント開催助成事業の実施地区数	64地区	62地区	63地区	66地区	69地区	b 62.50%	72地区	年中行事となっているイベントが多く、安定して推移している。引き続き助成制度の周知に努める。
	スクールヘルパーへの登録者数	15,887人	16,804人	16,700人	16,804人	16,547人	a 584.07%	16,000人	児童数が減少しているため登録数を増やすことは難しいが、学校、PTA、地域が連携して同水準を保っている。
ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数	8回	6回	6回	7回	9回	b 50.00%	10回	平成30年度はワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会を9回実施。講演会では、多世代に向けて啓発することができた。	

達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示
(最新数値－戦略策定時数値)÷(目標値－戦略策定時数値)×100

基本目標	数値目標	戦略策定時(平成26年度)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	達成率	目標値(平成31年度末)	数値の理由等
5 播磨の 中枢都市と して魅力ある 圏域を創生	播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率	—	50事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	a 100.00%	100%	全事業着手済み 一部実施:成年後見制度普及事業、備蓄物資・訓練資機材等の情報共有
	公共交通機関の乗車人員(1年間に公共交通機関に乗車した人員の1日平均)	156,102人	161,070人	162,677人	165,237人	165,237人	a 93.63%	165,859人	順調に推移している。 (現在のところ数値は見込み、実績確定は5月下旬予定)
	中心市街地の居住者数(H27年度以降の平均値)	8,732人	8,842人	8,923人	9,237人	10,520人	a 1103.70%	8,894人	再開発事業の進展に伴い、中心市街地の魅力が向上し、民間企業によるマンション建設が進んでおり、居住者数は順調に推移している。
	播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率(再掲)	—	50事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	a 100.00%	100%	全事業着手済み 一部実施:成年後見制度普及事業、備蓄物資・訓練資機材等の情報共有
	空き家バンク登録物件数	—	11件	23件	25件	34件	a 85.00%	40件	制度開始(H28.2)から約2年での数値。今後も制度の周知に努める。
	買い物支援サービス事業の利用者数	22人	43人	59人	60人	63人	a 146.43%	50人	増加傾向にあるため、順調に推移している。
	地域活動に対する支援(地域防災訓練)件数	503件	458件	645件	510件	554件	b 25.89%	700件	各自主防災会へ訓練を実施するよう呼びかけている。引き続き、資機材交付を行うなど防災訓練の促進に努める。
	中心市街地商店街の空き店舗減少数	37店舗	36店舗	34店舗	36店舗	31店舗	b 66.67%	28店舗	観光客等増加に伴う新規出店者の増加及び市補助制度の活用により、緩やかに減少傾向にある。今後も制度の周知に努め減少を目指す。
	地方創生にかかる意見聴取者数	—	—	89人	167人	217人	b 54.25%	400人	申込者 平成28年度104名、平成29年度106名、平成30年度は台風で中止、深堀り会議を2回実施50名
行政情報分析基盤を活用する組織数(H29年度以降の累計)	—	—	2部署	4部署	7部署	b 77.78%	9部署	・国民健康保険の特定健診分析(国民健康保険課、保健所健康課) ・子ども子育てに関する施設利用状況等の分析(こども政策課) ・住基システムログ活用した本庁・出先機関利用状況分析(住民窓口センター)	

達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示
(最新数値－戦略策定時数値)÷(目標値－戦略策定時数値)×100